

平成20年災害の概要

平成21年2月

佐 賀 県

目 次

平成20年災害別被害総括表	1
災害別気象状況及び被害状況等	
1 3月4日から5日にかけての降雪	2
2 3月19日の暴風	4
3 5月28日の大雨	6
4 6月19日の大雨	8
5 6月21日の大雨	15
6 6月28日の大雨	18
7 8月16日の大雨	20
平成20年月別気象概況	23
参考資料	
1 過去10年間の被害状況	35

平成20年災害別被害総括表

名 区 分	災害 3月4日か ら5日にか けての降 雪	3月19日の 暴風	5月28日の 大雨	6月19日の 大雨	6月21日の 大雨	6月28日の 大雨	8月16日の 大雨	計
人的被害（人）		1						1
死者		1						1
負傷者								
住家被害（棟）				533	1		9	543
住家全壊								
住家半壊								
住家一部損壊				2	1			3
住家床上浸水				25			4	29
住家床下浸水				506			5	511
非住家被害								
土木被害（千円）			3,300	8,560	28,200		950	41,010
農業被害（千円）	10,373	16,366	3,000	157,252	153,000		68,000	407,991
林業被害（千円）	29,961			7,050	15,816	3,150		55,977
水産被害（千円）								
文教被害（千円）								
商工被害（千円）								
厚生被害（千円）								
その他（千円）								
計	40,334	16,366	6,300	172,862	197,016	3,150	68,950	504,978

災害別気象状況及び被害状況等

1 3月4日から5日にかけての降雪

(1) 気象

ア 概況

3日から5日にかけて、低気圧や冬型の気圧配置の影響を受け、各地で10mm～45mmの雨やみぞれを観測した。

このため、農業被害及び林業被害が発生した。

イ 日降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
3月4日	15	34	17	23.0	5	18	18
3月5日	6	3	2	0.5	1	0	0

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
唐津地区		強風, 波浪	3/3 15:10	
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風, 波浪 雷	3/4 0:22	(切替)
唐津地区		強風, 波浪	3/4 5:50	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雪, 雷 大雪, 風雪, 雷, 波浪 大雪, 雷	3/4 14:44	(切替)
佐賀県		大雪	3/5 4:55	3/5 9:38

(2) 被害

被害総額 40,334千円

ア 農業被害 10,373千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農作物	野菜	0.01ha	85	葉わさび
	花き	0.03ha	542	アルストロメリア
利用施設	園芸施設	21箇所	9,746	園芸ハウス破損
計			10,373	

イ 林業被害 29,961千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林産物	105.7ha	29,961	杉、ヒノキの倒木等
計		29,961	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

なし

(イ) 市町

なし

イ 消防機関の出動状況

なし

2 3月19日の暴風

(1) 気象

ア 概況

18日から19日にかけて、低気圧が九州南岸を通過し、県内各地で最大風速7～14.8m/sの風を観測した。

このため、人的被害及び農業被害が発生した。

イ 日最大風速 (m / s)

区 分	枝去木	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
3月19日	8	10	14.8	6	7	12
3月20日	7	8	14.0	8	8	12

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
南部 唐津地区 伊万里地区		強風 強風, 波浪 強風	3/18 17:10	(発表)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		強風, 波浪 強風 強風, 波浪 強風, 波浪 強風, 波浪 強風	3/19 6:30	(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風	強風, 波浪 強風 強風, 波浪 強風, 波浪 波浪 強風	3/19 13:22	(切替)

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		強風, 波浪 強風 強風, 波浪 強風, 波浪 強風、波浪 強風	3/20 4:30	(切替)

(2) 被害

被害総額 16,366千円

ア 人的被害

区分	被害者数	備考
死者	1名	多久市(1名)
計	1名	

イ 農業被害 16,366千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
利用施設	ビニルハウス	91箇所	16,366	いちご、ねぎ等
計			16,366	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 3月19日 13時22分 ~ 3月20日 4時30分

(イ) 市町

災害情報連絡室 2市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 なし

(イ) 消防団員 なし

3 5月28日の大雨

(1) 気象

ア 概況

28日から29日にかけて、前線を伴った低気圧が九州北部を通過したため、県内各地で39.0～110.5mmの雨が降った。

このため、県内各地で、土木被害及び農業被害が発生した。

イ 日降水量 (mm)

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
5月28日	37.5	51.0	67.0	82.5	94.0	98.5	108.5	77.0	87.0	107.0
5月29日	1.5	2.0	1.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.5	3.5

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風 雷	5/28 6:15	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 洪水	5/28 10:09	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水	雷 雷, 強風 雷	5/28 20:47	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 洪水	5/29 0:20	(切替)
唐津地区		強風, 波浪	5/29 5:03	5/30 3:23

(2) 被害

被害総額 6,300千円

ア 土木被害 3,300千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
道路	3箇所	300	法面崩壊、落石等
その他	2箇所	3,000	がけ崩れ、急傾斜地崩壊
計		3,300	

イ 農業被害 3,000千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
農業用施設 農道	1箇所	3,000	法面崩壊
計		3,000	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 5月28日 20時47分 ~ 5月29日 0時20分

(イ) 市町

災害対策本部 なし

災害警戒本部 なし

災害情報連絡室 20市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 なし

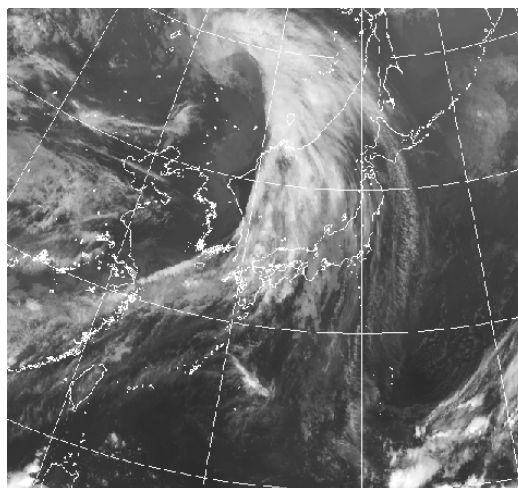
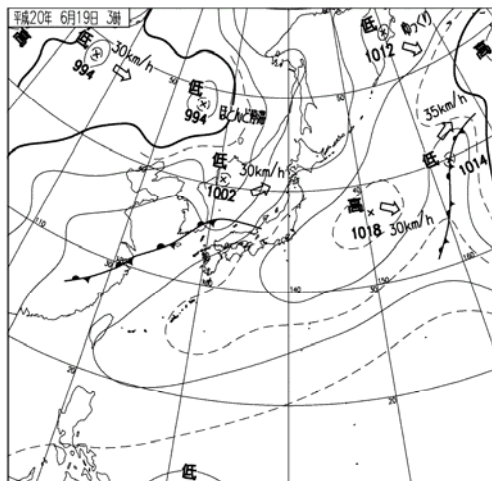
(イ) 消防団員 なし

4 6月19日の大雨

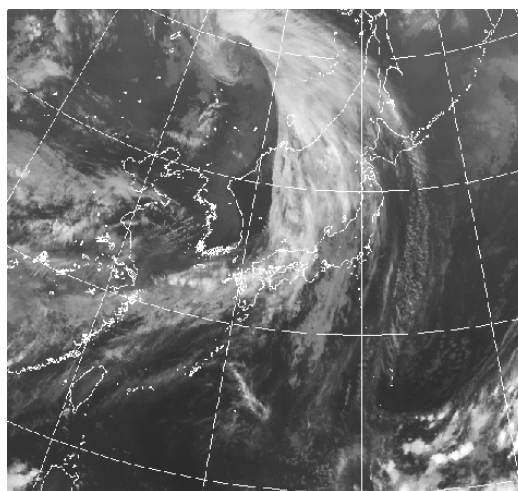
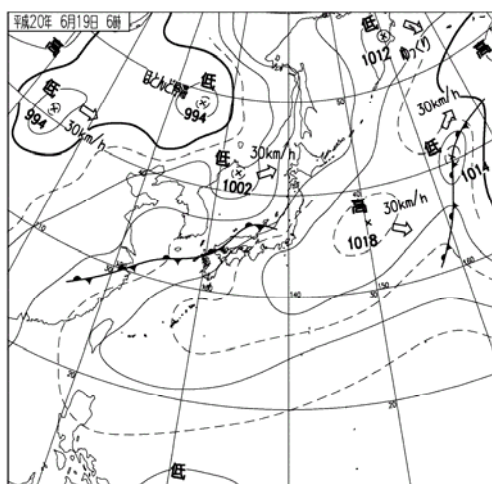
(1) 気象

ア 概況

朝鮮半島南岸付近にあった梅雨前線が19日未明に九州北部まで南下し、佐賀県では19日未明から朝のうちにかけて局地的に非常に激しい雨が降った。梅雨前線はその後も対馬海峡付近に停滞し、20日から21日にかけて断続的に強い雨が降った。



6月19日 03時



佐賀市（气象台）

6月19日 06時

では19日6時11分までの1時間に69ミリ、白石では6時41分までの1時間に79.5ミリの非常に激しい雨を観測した。また、嬉野では6時27分までの1時間に83.5ミリの猛烈な雨を観測した。これらは6月の1時間降水量としては昭和52年のアメダス観測開始以降1位の記録である。

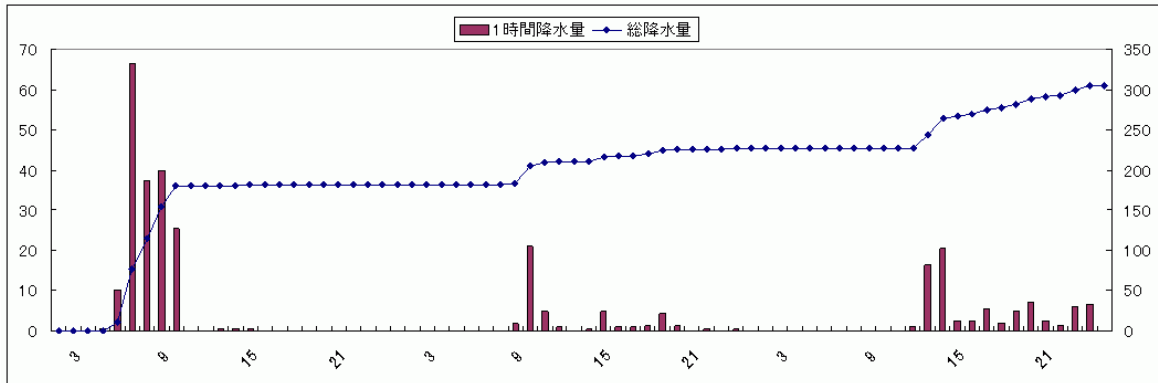
19日の日降水量は佐賀市（气象台）で182ミリ、白石で166ミリなど南部を中心に大雨となった。

このため、県内各地で、住家被害、土木被害、農業被害及び林業被害が発生した。

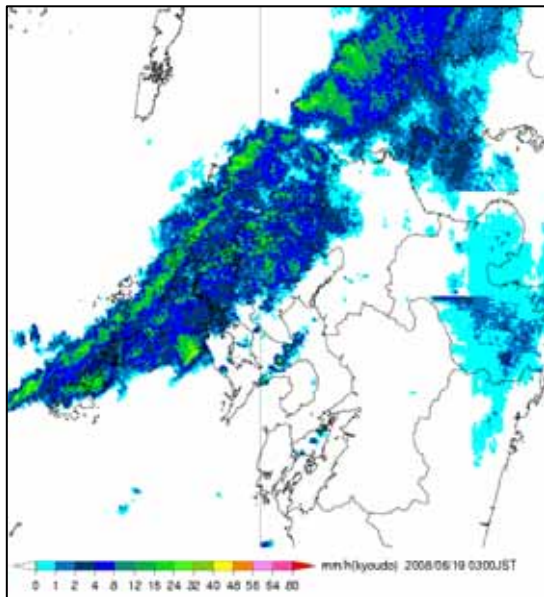
イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
6月19日	110.5	90.0	66.5	106.0	123.5	182.0	155.0	166.0	104.0	33.0

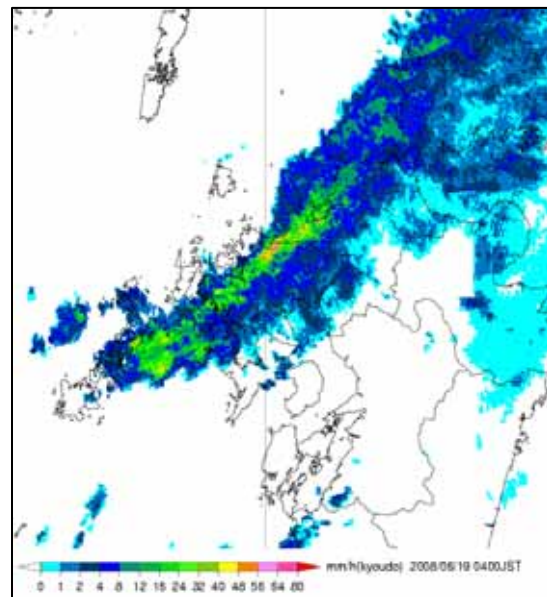
降水時系列図 (佐賀) 19日0時~21日24時



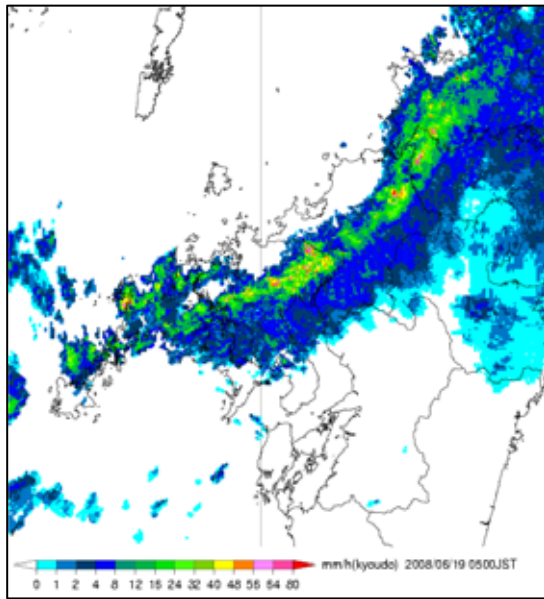
ウ 気象レーダー画像



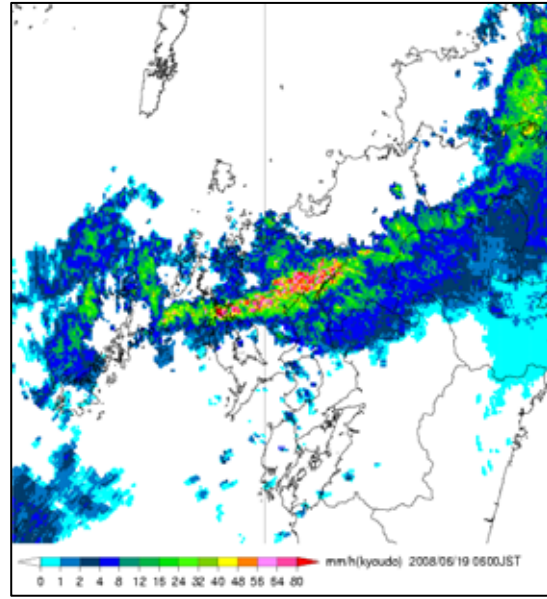
6月19日 03時00分



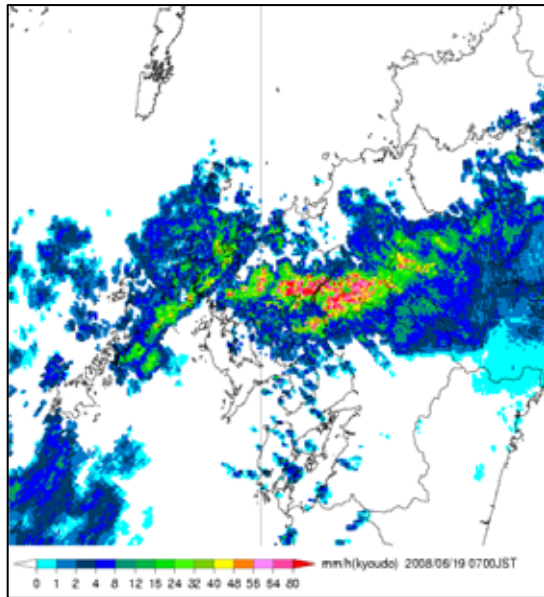
6月19日 04時00分



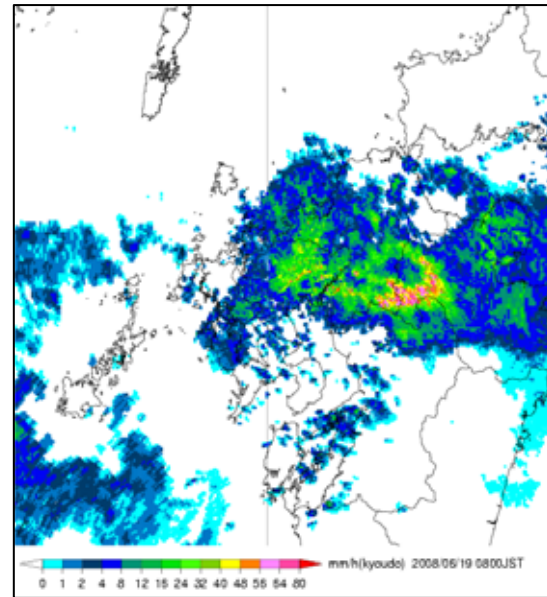
6月19日 05時00分



6月19日 06時00分



6月19日 07時00分



6月19日 08時00分

工 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
唐津地区		強風	6/18 10:53	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風, 波浪 雷	6/19 2:45	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 雷	6/19 3:55	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 洪水	6/19 4:30	(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨	雷 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 洪水	6/19 5:55	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨 大雨, 洪水	雷 雷, 強風, 波浪, 洪水 雷	6/19 6:30	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨 大雨, 洪水	雷 雷, 洪水 雷	6/19 10:30	(切替)
佐賀県		大雨, 雷, 洪水	6/19 16:15	(切替)
佐賀県		雷	6/19 22:25	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風 雷	6/20 7:35	(切替)

才 土砂災害警戒情報発表状況

発表	時分	警戒対象地域	解除対象地域
6月19日	6時44分	佐賀市、多久市、小城市、上峰町、武雄市、大町町、江北町、白石町、嬉野市、伊万里市、有田町	
6月19日	8時02分	佐賀市、多久市、小城市、上峰町、武雄市、大町町、江北町、白石町、鹿島市、嬉野市、伊万里市、有田町	
6月19日	15時23分		佐賀市、多久市、小城市、上峰町、武雄市、大町町、江北町、白石町、鹿島市、嬉野市、伊万里市、有田町

力 指定河川洪水予報発表状況

河川名	発表月日	時分	情報名
六角川	6月19日	8時20分	はん濫警戒情報
		9時00分	はん濫危険情報
		13時25分	はん濫注意情報
		17時25分	解除
牛津川	6月19日	9時35分	はん濫警戒情報
		14時30分	はん濫注意情報
		16時55分	解除
松浦川	6月19日	10時10分	はん濫注意情報
		18時00分	解除

(2) 被害

被害総額 172,862千円

ア 住家被害

区 分	被害数量	備 考
一部損壊	2 棟	唐津市(1) 有田町(1)
床上浸水	25 棟	佐賀市(24) 多久市(1)
床下浸水	506 棟	佐賀市(445) 多久市(2) 武雄市(15) 小城市(1) 白石町(43)
計	533 棟	

イ 土木被害 8,560千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
道路	3箇所	3,500	法面崩壊、落石
その他	3箇所	5,060	崖崩れ
計		8,560	

ウ 農業被害 157,252千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考	
農地	田	19箇所	37,000	法面崩壊
	畑	6箇所		法面崩壊
農業用 施設	水路	16箇所	85,000	水路損傷
	農道	17箇所		路肩崩壊
	ため池	3箇所		法面洗掘
農作物	野菜	54.9ha	32,479	アスパラガス、こねぎ
	果物	0.8ha	37	ぶどう
	花き	0.9ha	2,736	きく
計		157,252		

エ 林業被害 7,050千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	1箇所	5,000	山腹崩壊
林道	8箇所	2,050	法面崩壊、路肩崩壊
計		7,050	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 6月19日 05時55分 ~ 6月19日 17時00分

(イ) 市町

災害対策本部 1市

災害警戒本部 2市

災害情報連絡室 17市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 59人

(イ) 消防団員 411人

5 6月21日の大雨

(1) 気象

ア 概況

21日から22日にかけて対馬海峡にある梅雨前線が次第に南下し、県内各地で57.0～105.0mmの雨を観測した。

このため、県内各地で、住家被害、土木被害、農業被害及び林業被害が発生した。

イ 日降水量（mm）

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
6月21日	51.0	63.0	99.5	59.0	98.0	79.0	50.5	60.0	56.5	85.5
6月22日	6.0	11.5	5.5	1.5	2.0	3.0	5.0	3.0	3.0	9.0

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
唐津地区		強風	6/20 23:22	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 濃霧 雷	6/21 3:40	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水, 濃霧 大雨, 雷, 洪水	6/21 8:25	(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨	雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水, 濃霧 大雨, 雷, 洪水	6/21 12:31	(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨 大雨	雷, 洪水 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水, 濃霧 大雨, 雷, 洪水	6/21 13:25	(切替)

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水	雷 大雨, 雷, 強風, 洪水 雷	6/21 14:47	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨 大雨, 洪水	雷 雷, 強風, 洪水 雷	6/21 16:20	(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨 大雨	雷, 洪水 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 洪水	6/21 22:55	(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷 大雨, 雷 雷 雷 雷, 強風, 波浪 雷	6/22 3:50	(切替)

(2) 被害

被害総額 197,016千円

ア 住家被害

区分	被害数量	備考
一部損壊	1棟	武雄市(1)
計	1棟	

イ 土木被害 28,200千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
河川	3箇所	8,000	護岸崩壊
道路	4箇所	2,700	路肩崩壊
その他	4箇所	17,500	崖崩れ、落石等
計		28,200	

ウ 農業被害 153,000千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考	
農 地	田	32箇所	57,000	法面崩壊
	畑	16箇所		法面崩壊
農業用 施設	水路	9箇所	96,000	水路損壊
	農道	13箇所		路肩損壊
	ため池	1箇所		水路損壊
計		153,000		

エ 林業被害 15,816千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	2箇所	3,024	山腹崩壊
林道	16箇所	12,792	法面崩壊、路肩崩壊
計		15,816	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 6月21日 12時31分 ~ 6月22日 10時10分

(イ) 市町

災害情報連絡室 20市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 0人

(イ) 消防団員 31人

6 6月28日の大雨

(1) 気象

ア 概況

28日から29日にかけて、梅雨前線の影響を受け、県内各地で、77.0～110.0mmの雨を観測した。

このため、佐賀市において林業被害が発生した。

イ 日降水量（mm）

区分	枝去木	和多田	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
6月28日	72.0	81.5	93.5	61.5	99.5	82.0	81.0	73.0	89.5
6月29日	22.5	7.5	2.0	15.5	5.5	14.0	3.5	4.5	20.5

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
佐賀県		雷	6/28 6:11	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 洪水	6/28 13:03	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨	大雨, 雷, 洪水 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 洪水	6/28 17:45	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水	大雨, 雷, 洪水 雷, 強風 雷	6/28 20:05	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 洪水	6/28 23:15	6/29 8:15

(2) 被害

被害総額 3,150千円

ア 林業被害 3,150千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	2箇所	2,000	法面崩壊、山腹崩壊
林道	4箇所	1,150	法面崩壊
計		3,150	

(3) 災害応急対策

(ア) 県

災害情報連絡室 6月28日 17時45分 ~ 6月29日 09時00分

(イ) 市町

災害情報連絡室 6市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 なし

(イ) 消防団員 なし

7 8月16日の大雨

(1) 気象

ア 概況

前線や湿った空気の流れ込みの影響で、県内各地で30.0～103.0mmの雨を観測した。
このため、住家被害、土木被害及び農業被害が発生した。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
8月16日	103.0	76.5	80.0	59.5	69.0	55.5	36.0	30.5	37.5	30.0

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
佐賀県		雷	8/15 16:57	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 高潮 雷	8/16 4:02	(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 雷 大雨, 雷, 洪水, 高潮 大雨, 雷, 洪水	8/16 12:30	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水	大雨, 雷, 洪水 雷, 高潮 大雨, 雷, 洪水	8/16 13:15	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水	雷 雷, 高潮 雷	8/16 13:50	(切替)

地域	種類		発表日時	解除日時
	警報	注意報		
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨 大雨	雷，洪水 雷，洪水 雷 大雨，雷，洪水 大雨，雷，洪水，高潮 大雨，雷，洪水	8/16 18:35	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷，高潮 雷	8/16 20:45	(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 大雨，雷，洪水，高潮 大雨，雷，洪水	8/17 3:24	(切替)

(2) 被害

被害総額 68,950千円

ア 住家被害

区分	被害数量	備考
床上浸水	4棟	唐津市(4)
床下浸水	5棟	唐津市(5)
計	9棟	

イ 土木被害 950千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
道路	2箇所	950	法面崩壊、路肩崩壊
計		950	

ウ 農業被害 68,000千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農 地	田	14箇所	22,000	法面崩壊
	畑	3箇所		法面崩壊
農業用 施設	水路	4箇所	25,000	水路損傷
	農道	8箇所		路肩損壊
	ため池	2箇所	17,000	護岸崩落
	その他	1箇所	4,000	頭首工堰体崩壊
計			68,000	

(3) 災害応急対策

(ア) 県

災害情報連絡室 8月16日 13時15分 ~ 8月16日 20時45分

(イ) 市町

災害情報連絡室 20市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 なし

(イ) 消防団員 なし

平成20年月別気象概況

(資料提供：佐賀地方気象台)

<1月>

上旬は高気圧に覆われる日が多かったが、中旬から下旬は低気圧や気圧の谷の影響を受ける日が多く降水量は平年より多かった。

一時的に冬型の気圧配置となったものの、寒気の影響を受ける日が少なく平均気温は平年より高かった。

【上旬】1日は強い冬型の気圧配置となり佐賀で積雪

期間の初めに強い冬型の気圧配置の影響を受け雪の降る日があったが、中ごろから高気圧に覆われ晴れる日が多かった。

佐賀の平均気温は平年並、降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。

1日は強い冬型の気圧配置の影響を受け、各地で1～4mmの雨や雪を観測し、佐賀で0cmの積雪を観測した。7日は九州の南の海上を通過した低気圧の影響を受け、1～3mmの雨を観測したところがあった。

【中旬】気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり多かった。

低気圧や気圧の谷の影響を受ける日が多く曇る日や雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より多かった。

11日から13日にかけて低気圧と気圧の谷の影響を受け、各地で18～35mmの雨を観測した。15日から16日にかけて気圧の谷の影響を受け、1～3mmの雨を観測したところがあった。18日は気圧の谷の影響を受け、北部を中心に1～10mmの雨を観測したところがあった。

20日は九州南部に接近した低気圧の影響を受け、各地で30～37mmの雨を観測した。

【下旬】日照時間は平年よりかなり少なかった。

低気圧や気圧の谷の影響を受ける日が多く、曇る日や雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年よりかなり少なかった。

22日から23日にかけて気圧の谷の影響で、各地で2～5mmの雨を観測した。28日から29日にかけて低気圧や気圧の谷の影響で、各地で6～13mmの雨を観測した。

<2月>

寒気の影響を受ける日が多く、気温は平年より低かった。また、高気圧に覆われ晴れる日が多く、日照時間は平年よりかなり多かった。

【上旬】寒気の影響を受ける日が多く、気温は平年より低かった。

高気圧と気圧の谷の影響を交互に受け、天気は周期的に変化し、寒気の影響を受ける日も多かった。

佐賀の平均気温は平年より低く、降水量、日照時間は平年並であった。

2日から3日は気圧の谷の影響を受け、各地で10～12mmの雨を観測した。9日は寒気を伴った気圧の谷の影響を受け、1mmの雨を観測したところがあった。

【中旬】気温は平年より低く、降水量は平年よりかなり少なかった。

高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、一時的に気圧の谷や冬型の気圧配置の影響を受け曇る日や雨や雪の降る日もあった。

佐賀の平均気温は平年より低く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。

期間中、気圧の谷や冬型の配置の影響で一時的に雨や雪が降った所があったが、降水量は1mmに満たなかった。

【下旬】26日は低気圧の通過でまとまった雨

気圧の谷や低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温は平年並、降水量は平年より多く、日照時間は平年より多かった。

22日は気圧の谷の影響で、1～3mmの雨を観測したところがあった。24日は冬型の気圧配置の影響で、1～2mmの雨や雪を観測したところがあった。26日は低気圧の影響で、各地で19～44mmの雨を観測した。29日は気圧の谷の影響で、1～2mmの雨を観測したところがあった。

<3月>

天気は周期的に変化し、降水量は平年より多く、日照時間は平年よりかなり多かった。平均気温は上旬は平年より低かったが、中旬は平年よりかなり高く、下旬は平年並みであった。

【上旬】 寒気の影響を受ける日が多く、気温は平年より低かった。

高気圧と低気圧や冬型の気圧配置の影響を交互に受け、天気は周期的に変化し、寒気の影響を受ける日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より低く、降水量と日照時間は平年より多かった。

1日は気圧の谷の影響を受け、1mmの雨を観測した所があった。3日から5日にかけて低気圧や冬型の気圧配置の影響を受け、各地で10～45mmの雨やみぞれを観測した。

9日は低気圧の影響を受け、各地で2～10mmの雨を観測した。

【中旬】 天気は周期的に変化し気温は平年よりかなり高かった。

高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、天気は周期的に変化した。

平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年よりかなり多かった。

13日から14日にかけて寒冷前線が九州北部を通過し、県内各地で12～32mmの雨を観測した。18日から19日にかけて低気圧が九州南岸を通過し、県内各地で27～63mmの雨を観測した。19日は権現山で日最大1時間降水量が13mmとなり3月の極値を更新した。

【下旬】天気は周期的に変化、23日と30日には低気圧や前線の影響でまとまった雨が降った。

低気圧や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温は平年並、降水量は平年より多く、日照時間は平年より多かった。

23日は前線を伴った低気圧の影響で、各地で16～36mmの雨を観測した。25日は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、1～4mmの雨やあられを観測したところがあった。27日は低気圧の影響で、0.5～10.5mmの雨を観測したところがあった。29日は気圧の谷の影響で、1.0～2.5mmの雨を観測したところがあった。30日は九州南岸付近を通過した低気圧の影響で、各地で16.5～33.0mmの雨を観測した。31日は冬型の気圧配置の影響で、0.5～3.5mmの雨を観測したところがあった。

<4月>

期間を通して天気は周期的に変化し、平均気温・降水量・日照時間ともに平年並であった。

【上旬】天気は周期的に変化し、日照時間は平年より少なかった。

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温と降水量は平年並、日照時間は平年より少なかった。

7日は九州北部を通過した低気圧の影響を受け、各地で13～38mmの雨を観測した。9日から10日は九州北部を通過した低気圧の影響を受け、各地で32～71mmの雨を観測した。

【中旬】天気は周期的に変化、16日から17日には低気圧の影響を受け県内各地で雨となった。

低気圧や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

平均気温は平年より高く、降水量と日照時間は平年並であった。

16日から17日にかけて低気圧が九州南部を通過し、県内各地で16.5～46.5mmの雨を観測した。

【下旬】天気は周期的に変化し、23日には低気圧の影響を受け県内各地で雨となった。

低気圧や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温と降水量は平年並、日照時間は平年より多かった。

23日は前線を伴った低気圧の影響で、各地で30～44mmの雨を観測した。

<5月>

高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年よりかなり多かった。

【上旬】天気は周期的に変化した。

期間中低気圧や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年より多かった。

4日から5日にかけて低気圧が九州南部を通過し、県内各地で6～22mmの雨を観測した。9日から10日にかけて前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、県内各地で30～81mmの雨を観測した。

【中旬】高気圧に覆われ晴れの日が多く、日照時間は平年よりかなり多かった。

期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、低気圧や前線の影響を受け雨の降る日もあった。

佐賀の平均気温は平年より低く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。

13日から14日にかけては気圧の谷の影響で、1.5～2.5mmの雨を観測したところがあった。

19日は寒冷前線が九州北部を通過し、県内各地で18.5～72.0mmの雨を観測した。

【下旬】天気は周期的に変化し、降水量は平年よりかなり多かった。

期間中気圧の谷や低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年並であった。

24日は九州南部に前線が停滞し、県内各地で22.5～46.0mmの雨を観測した。28日から29日にかけては前線を伴った低気圧が九州北部を通過し、県内各地で39.0～110.5mmの雨を観測した。

<6月>

10日ごろに梅雨入りした後は雨の日が多く、梅雨前線の影響を受け大雨となる日があった。このため、佐賀の降水量は平年よりかなり多かった。また、平均気温は平年より低かった。

【上旬】九州北部地方（山口県を含む）は、10日ごろ梅雨入り。

期間中気圧の谷や九州南海上の前線の影響を受け曇りの日が多く、雨の降る日もあった。佐賀の平均気温は平年並、降水量及び日照時間は平年より少なかった。

2日から3日にかけて気圧の谷や九州南海上の前線の影響を受け、県内各地で15.5～37.0mmの雨を観測した。10日は九州南海上の前線が次第に北上し、県内各地で0.5～22.5mmの雨を観測した。

福岡管区気象台は、「九州北部地方（山口県を含む）は、10日ごろ梅雨入りしたとみられる。」と発表した。

【中旬】梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

期間中梅雨前線や低気圧の影響を受け、雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年並、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より少なかった。

11日から12日にかけて前線を伴った低気圧が九州南部を通過し、県内各地で50.0～134.0mmの雨を観測した。

15日は前線を伴った低気圧が弱まりながら九州南部を通過し、県内各地で16～95mmの雨を観測した。19日は九州北部に停滞する梅雨前線の影響を受け、県内各地で33～182mmの雨を観測した。また、日最大1時間降水量は嬉野83.5mm、白石79.5mmを観測しこれまでの極値(6月の1位)を更新した。

【下旬】梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

期間中梅雨前線の影響を受け、曇りや雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より低く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並であった。

21日から22日にかけて対馬海峡にある梅雨前線が次第に南下し、県内各地で57.0～105.0mmの雨を観測した。24日から25日にかけて梅雨前線の影響を受け、県内各地で18.0～44.5mmの雨を観測した。28日から29日にかけて梅雨前線の影響を受け、県内各地で77.0～110.0mmの雨を観測した。

<7月>

6日ごろに梅雨明けした後は太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多く、気温が高く、降水量が少なかった。

佐賀の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。

【上旬】九州北部地方(山口県を含む)は、6日ごろ梅雨明け。

期間の前半は梅雨前線や湿った空気の流入の影響で雨の降る日が続いたが、後半は、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が続いた。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

1日から2日にかけて梅雨前線の影響で、県内各地で12.5～58.0mmの雨を観測した。

福岡管区气象台は、「九州北部地方(山口県を含む)は、6日ごろ梅雨明けしたとみられる。」と発表した。

【中旬】太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

期間の初めと終わりは湿った空気の流入の影響で雨の降る日があったが、中頃は、太平洋高気圧に覆われて晴れた。

佐賀の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

14日は湿った空気の流入と強い日射の影響で、1.0～64.5mmの雨を観測したところがあった。また、権現山で54.5mmの日最大1時間降水量を観測しこれまでの極値(7月の1位)を更新した。18日から19日は湿った気流や強い日射の影響で、2.5～21.0mmの雨を観測したところがあった。

【下旬】23日に「高温と少雨に関する佐賀県気象情報第1号」を発表した。

期間中太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、湿った空気の流入と強い日射の影響で局地的に雨の降る日もあった。

佐賀の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。

21日は北の低気圧に向かって流れ込む湿った空気と強い日射の影響で、県内の観測所では0.5～17.5mmの雨を観測した。

7月に入り気温が高く、降水量が少ない状態が続いているため、23日に「高温と少雨に関する佐賀県気象情報第1号」を発表した。

<8月>

上旬から中旬前半にかけては太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、その後は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

佐賀の平均気温は平年並、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なかった。

【上旬】平均気温は平年より高い。1日に「高温と少雨に関する佐賀県気象情報第2号」を発表

期間中太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、南からの湿った空気の流れ込みと強い日射の影響で、局地的な雨の降る日もあった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量及び日照時間は平年並であった。

4日は対馬海峡にある前線に向かって湿った空気が流れ込み、3.0～46.0mmの雨を観測した。8日から9日は高気圧に覆われたが、強い日射の影響を受け一時的に大気の状態が不安定となり、3.5～37.5mmの雨を観測したところがあった。

7月上旬から気温が高く、局地的な雨のため降水量が少ない状態が続いていることから、1日に「高温と少雨に関する佐賀県気象情報第2号」を発表した。

【中旬】平均気温は平年より高く、降水量は平年より多かった。

期間中前半は太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、後半は前線や湿った空気の流れこみの影響で雨が降り雷を伴う日もあった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並であった。

11日は高気圧に覆われたが、強い日射の影響を受け一時的に大気の状態が不安定となり、3.5～26.5mmの雨を観測したところがあった。15日～19日は前線や湿った空気の流れこみの影響で15日は佐賀で47.5mm、16日は枝去木で103.0mm、17日は佐賀で19.0mm、18日は権現山で16.5mm、19日は多良岳で73.5mm等の雨を観測した。

【下旬】平均気温は平年より低かった。

期間中低気圧や前線、気圧の谷の影響で、曇りや雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より低く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なかった。

22日は前線が九州北部を通過し、県内の観測所で24.5～80.0mmの雨を観測した。27日は低気圧が九州南岸を通過し、県内の観測所で24.0～61.5mmの雨を観測した。28日は前線の影響で、県内の観測所で0.5～26.5mmの雨を観測した。30日は気圧の谷の影響で、1.0～34.5mmの雨を観測したところがあった。

<9月>

上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、その後は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年より少なかった。

【上旬】降水量は、平年より少なかった。

期間中高気圧に覆われて晴れる日が多く降水量は少なかった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。

1日から2日にかけては気圧の谷や南から湿った空気が流れ込み、0.5～13.5mmの雨を観測したところがあった。7日は気圧の谷の影響で0.5～19.0mmの雨を観測したところがあった。

【中旬】平均気温は平年より高く、日照時間は平年より少なかった。

期間中高気圧に覆われて晴れる日があったが、気圧の谷や前線、台風第13号の影響で雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量及び日照時間は平年より少なかった。

11日は気圧の谷の影響で0.5～9.0mmの雨を観測したところがあった。14日は気圧の谷の影響で、0.5～32.5mmの雨を観測したところがあった。15日は前線の影響で、県内の観測所で5.0～35.0mmの雨を観測した。17日は前線や台風第13号の影響で、県内の観測所で1.0～23.0mmの雨を観測した。

【下旬】平均気温は平年より高く、降水量は平年より多かった。

期間中高気圧に覆われて晴れる日があったが、前線や気圧の谷の影響で雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なかった。

21日は前線が九州を南下し、県内の観測所で8.5～57.0mmの雨を観測した。25～26日にかけては前線が九州を南下し、県内の観測所で6.0～27.5mmの雨を観測した。29～30日にかけては九州南岸に停滞する前線の影響で、県内の観測所で50.5～133.0mmの雨を観測した。

<10月>

上旬から中旬にかけては高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、その後は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

佐賀の平均気温は平年よりかなり高く、降水量及び日照時間は平年より少なかった。

【上旬】平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なかった。

期間中低気圧や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並であった。

1日は低気圧が九州南海上を通過し、県内の観測所で0.5～6.0mmの雨を観測したところがあった。5日は低気圧が九州南部を通過し、県内の観測所で8.5～21.5mmの雨を観測した。

10日は気圧の谷の影響で0.5～2.5mmの雨を観測したところがあった。

【中旬】高気圧に覆われて晴れの日が多く、降水量は平年よりかなり少なかった。

高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、気圧の谷の影響で一時雨の降る日もあった。

佐賀の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。

また、11日と14日は気圧の谷の影響で0.5mmの雨を観測したところがあったが、旬の降水量は0.0mmのところが多かった。

【下旬】気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の降る日が多かった。

気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の降る日が期間の前半は多かった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年よりかなり少なかった。

22日から24日にかけては気圧の谷や前線の影響で県内の観測所で4.5～37.0mmの雨を観測した。26日は気圧の谷や寒気の影響で県内の観測所で0.5～2.0mmの雨を観測したところがあった。31日は気圧の谷の影響で県内の観測所で0.5～4.0mmの雨を観測したところがあった。

<11月>

上旬は気圧の谷や低気圧の影響を受ける日が多かった。中旬前半は高気圧に覆われて晴れの日が多く、後半は寒気が流れ込み一時的に冬型の気圧配置となった。下旬は、天気は周期的に変化した。気温の変動は大きかったものの佐賀の平均気温は平年並で、降水量及び日照時間は平年より少なかった。

【上旬】気圧の谷や前線、低気圧の影響で曇りや雨の降る日が多く、日照時間は平年よりかなり少なかった。

気圧の谷や前線、低気圧の影響で曇りや雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年よりかなり少なかった。

3日は気圧の谷や九州南海上の前線の影響で、県内の観測所で3.0～7.0mmの雨を観測した。6日から7日にかけては低気圧が九州南部を通過し、県内の観測所で4.5～13.5mmの雨を観測した。8日は気圧の谷や低気圧が九州南部を通過し、県内の観測所で1.0～6.5mmの雨を観測したところがあった。

【中旬】期間の前半は高気圧に覆われ、後半は冬型気圧配置で寒気流入。

期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが後半は低気圧や気圧の谷、寒気の影響で曇りや雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温、降水量及び日照時間は平年並であった。

15日は低気圧が九州南部を通過し、県内の観測所で3.5～16.5mmの雨を観測した。19日は寒気の影響で0.5～2.0mmの雨を観測したところがあった。

19日に天山の初冠雪（平年より15日早い）、20日に佐賀で初氷（平年より11日早い）を観測した。

【下旬】気圧の谷や低気圧と高気圧の影響で天気は周期変化。

気圧の谷や低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。

佐賀の平均気温、降水量及び日照時間は平年並であった。

21日は気圧の谷の影響で0.5～5.0mmの雨を観測したところがあった。24日は低気圧が九州北部を通過し、県内の観測所で13.0～26.5mmの雨を観測した。27日は低気圧の影響で、県内の観測所で0.5～13.5mmの雨を観測した。28日は気圧の谷や寒気の影響で、県内の観測所で0.5～7.0mmの雨を観測した。29日は気圧の谷や寒気の影響で0.5～3.0mmの雨を観測したところがあった。

<12月>

上旬から中旬にかけては高気圧に覆われて晴れの日が多く、下旬は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。佐賀の平均気温は平年並で、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より多かった。

【上旬】期間の初めと終わりは高気圧に覆われ、中ごろは冬型気圧配置で寒気流入。

期間の初めは高気圧に覆われて晴れたが、その後は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の降る日が多かった。特に中頃は強い冬型の気圧配置となり雪の降る日があった。

佐賀の平均気温は平年並、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年並であった。

4日から5日にかけては前線の影響で、県内の観測所で19.0～66.5mmの雨を観測した。6日は寒気の影響で1.0～3.5mmの雨を観測したところがあった。8日から9日にかけては気圧の谷の影響で0.5～15.5mmの雨を観測したところがあった。

1日に佐賀で初霜（平年より9日遅い）、6日に初雪（平年より11日早い）を観測した。

【中旬】概ね高気圧に覆われ晴れの日が多く、期間中頃一時冬型。

期間中高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量が少なかった。

佐賀の平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。

13日から14日にかけては気圧の谷や寒気の影響で、県内の観測所で0.5～2.5mmの雨を観測したところがあった。

【下旬】前線や気圧の谷の影響を受け降水を伴う日が多く、期間の終わりは冬型。

前線や気圧の谷の影響を受けて曇る日や雨の降る日が多かった。

佐賀の平均気温は平年並、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より少なかった。

21日から22日にかけては前線の影響で、県内の観測所で29.5～41.5mmの雨を観測し、24日から25日にかけては気圧の谷の影響で、1.0～3.0mmの雨を観測した。31日は冬型の気圧配置となり、0.5mmの雨を観測したところがあった。

過去10年間の被害状況

区分	年次				
	11	12	13	14	15
人的被害(人)	2	2		2	6
死者		1		1	
負傷者	2	1		1	6
住家被害(棟)	332	1	139	281	43
住家全壊				1	
住家半壊				1	
住家一部損壊	8		4	2	18
住家床上浸水	9		2	12	1
住家床下浸水	315	1	133	265	24
非住家被害(棟)	1				12
土木被害	2,075,800	160,600	1,472,400	1,544,623	836,900
農業被害	10,265,134	559,640	3,779,266	3,936,736	3,781,313
林業被害	708,300	36,900	653,611	588,521	659,834
水産被害	48,100				9,068
文教被害		2,000			884
商工被害					
厚生被害					2,948
その他(県有財産等)					
計	13,097,334	759,140	5,905,277	6,069,880	5,290,947

(金額単位：千円)

16	17	18	19	20	備考
81	15	34	12	1	
		3		1	
81	15	31	12		
1,835	140	3,493	198	543	
17		7			
31	1	8			
1,784	139	2,981	1	3	
		111	12	29	
3		386	185	511	
105	1	374			
509,600	227,975	6,212,140	288,300	41,010	
9,446,920	1,665,299	22,141,075	484,260	407,991	
871,320	16,970	3,137,736	163,221	55,977	
105,630	17,867	442,776	1,000		
36,985	94,367	227,000			
183,155	114,395	235,993			
18,650		79,378			
187,412	101,786	91,064	860		
11,359,672	2,238,659	32,567,162	937,641	504,978	